



緑の募金

公募事業報告集

【平成19年度】



(社)高知県森と緑の会

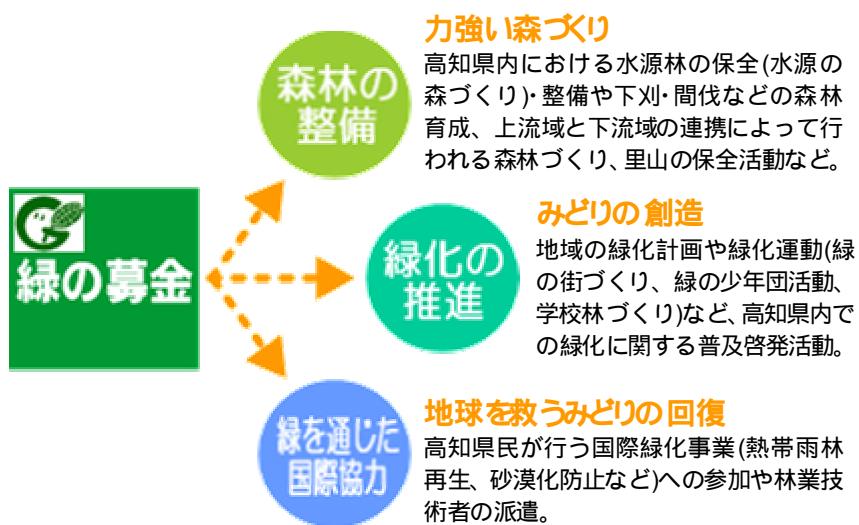
はじめに

緑の募金事業は、緑のボランティア活動を支援し、国民参加の森林づくり運動として展開することにより、国内はもとより地球規模で森林づくりを進めることを目的として、平成8年以降「緑の募金法」に基づき、全国で、森林の整備、緑化の推進、緑の国際協力の3分野の事業を実施しています。

高知県では、(社)高知県森と緑の会が緑の募金への寄付を募り、その管理運営を行っています。

集まったお金の1割弱は上部団体への負担金として納め、残りの9割強は高知県内での活動に使われています。各団体等が行う地域に密着した森や緑に関わる公募事業には4割程度が使われています。

平成19年度は、44団体から45件の応募がありました。近年の高知県の厳しい経済状況の中、緑の募金実績が厳しく、審査の結果、36件、577万円の交付決定となりました。



ご協力いただいた方や関係者に対して緑の募金の成果を報告し、緑の募金の意義や役割を認識していただくことは、今後の募金活動を維持・発展させていくうえで大変重要なことであるところから、昨年度からこの報告集を作成し、関係者に配布するとともに、当会ホームページにも掲載することにしました。

本報告書では、平成19年度に緑の募金で助成をした事業についての一覧表を掲載するとともに、このうちの一部事業については写真入りで事業概要を紹介させていただきました。今後の活動の参考にしていただくとともに、県民のみなさまの緑の募金への理解の一助になれば幸いです。

残りの1割弱は上部団体である(社)国土緑化推進機構に納められ、全国的な見地に沿って各種事業や都道府県に振り分けられています。

[目 次] --

平成 19 年度緑の募金公募事業一覧表 4

ふれあい 21 世紀の森づくり事業 (森林の整備) 7
まもろう ! ふるさと (緑と水) を (緑化の推進) 8
安徽日中友好の森づくり事業 (緑の国際協力) 9

森林の整備

おおなろ野外活動の森づくり 10
どんぐり銀行大川村プロジェクト 10
焼畑から始める近自然の森づくり 11
三嶽古道整備事業 11

緑化の推進

自然にふれあうネイチャークラフト教室開催事業 12
三原村緑と親しむ事業 12
木材を活用したバイオトイレの建設 13

地区・支部実施事業

香美市体験林業教室 13
松原地区松林環境整備事業 14
自生植生による緑の町再生事業 14

緑の募金法(緑の募金による森林整備等の推進に関する法律)と(社)高知県森と緑の会 15

[表紙]

黄緑色 : 森林の整備事業
緑 色 : 緑化の推進事業
青 色 : 緑を通じた国際協力事業
茶 色 : 地区・支部実施事業

[裏表紙写真]

左上 : 夏休み親子森林体験教室 / 高知県林業改良普及協会 (緑化の推進)
右上 : 香美市林業体験教室 / 香美市支部 (地区・支部実施事業第 一期)
右下 : 千本松原活性化プロジェクト / 千本松原の松を守り育てる住民の会 (森林の整備)
左下 : 安徽日中友好の森づくり事業 / 安徽日中友好の森づくりネットワーク (国際協力)

平成19年度緑の募金公募事業一覧表

森林の整備】

No.	事業名	団体名	実施場所	事業概要	実績額
1	ふれあい21世紀の森づくり事業(新規)	情報交流館ネットワーク	香美市物部町ヒカリ石国有林、香北町西川	森・川・海の連携による流域再生の取り組みとして、海に関わる人々(香南漁業協同組合)にも呼びかけ、流域住民と関連団体が一体となって2ヶ所で作業を行った。ヒカリ石国有林では間伐と原生林の散策、香北町西川契約民有林では植樹を行った。	330,000
2	千本松原活性化プロジェクト(継続)	千本松原の松を守り育てる住民の会	高知市千松公園	種崎地区千本松原の再生活性化を目指すため、住民ボランティアで草刈りや支柱の取り替え、施肥を9回実施した。また、11月に、公園等で発生する枯れ松を活用し、現地炭窯で木炭の製造し、植栽松の成長促進を試みている。	115,000
3	おおなろ野外活動の森づくり(継続)	おおなろ野外活動の森づくり実行委員会	高知市おおなろの森	地域住民を中心に身近な環境・森づくりに取り組み、大人から子どもまでが自由におおなろの森の中を散策できるよう、7月と10月に、児童への自然の良さの普及活動を兼ねて下刈りや間伐作業を行い、午後は野外の森で交流をした。	79,000
4	南国市部落林整備事業(2回目)	南国緑と水の会	南国市	3ヶ所の整備を会員と住民と協力して行う予定だったが、1ヶ所の実施となった。実施された吾岡山剪定実習事業は、地元の研修として参加者を募っての開催となつたため、事業費は必要なくなった。	0
5	汗見川地域森林整備事業(新規)	汗見川の自然を守る会	本山町白髪山	白髪山の生態を代表するハラ奈路へ通じる登山道(壊滅状態)を整備し、天然ヒノキが更新する貴重な森林現況の観察地・研究地として、日本ヒノキの質のよさを宣伝する基地とするため、約600mの歩道整備を3~11月にかけてのべ49名で行った。	330,000
6	どんぐり銀行大川村プロジェクト(継続)	大川村ふるさとむら公社	大川村白滝の里「友達の森」、大川村大座礼山	森づくり事業 地域と都市住民がどんぐり銀行のクヌギの苗木200本を植樹し、交流拡大と森林保全意識啓発を図った。森林保全活動事業 大座礼山の巨木を保つための整備として、巨木周辺のササ根の除去を地元中学生も参加して行った。	138,000
7	大座礼山ブナ林環境保全活動事業(新規)	嶺北緑と水の会	大川村大座礼山	天然ブナ林(樹齢推定数百年の巨樹・古木)を有する大座礼山の周辺では、笹等の繁茂と登山客の増加で根が露出してきている。豊かな自然の象徴としての大座礼山ブナ林の保全に向け、笹の刈り払いを行った。	93,000
8	汗見山森林再整備事業(5回目)	アセビ会	いの町枝川	宇治川の源流である「汗見」の山を地区の住民の協力を得て自然と調和した桜の山にするために桜の植栽や草刈り作業をのべ50人で行った。周辺の山林や有休地を利用して進め、将来は自然公園化するとともに、今後も開発維持する。	138,000
9	焼畑から始める近自然の森づくり(3年目)	焼畑による山おこしの会	仁淀川町(旧池川町)	「焼畑のムラ」として知られる高知県吾川郡仁淀川町の旧池川町において、焼畑での雑穀栽培を復活・普及させることにより、地域のシンボル的な森林の利活用をはかるため、地元住民の協力を得ながら、春焼きと夏焼きを実施し、雑穀等を収穫した。	14,000
10	三嶽古道整備事業(新規)	横倉山自然の森博物館友の会	仁淀川町谷山~越知町横倉山	荒れ果てた「三嶽(みたけ)越え(旧仁淀村と横倉山の尾根ルート)」を、H17から「三嶽古道」と名付け、地元住民らが協力して整備を開始。登山道へ標識の設置や倒木処理等を行ない、地元小学生と樹木名板を設置し、魅力ある遊歩道に整備した。	300,000
11	四万十流域間伐推進事業(継続)	四万十樵塾	四万十町旧大正町	四万十川流域で、除間伐等の森林整備が遅延した森林について、適正な間伐施行を推進するため、市ノ又ふれあいの森16haを四万十森林管理署と協定を結び、間伐作業をのべ25日間105名の参加者で3.6ha実施した。ほか普及活動も行った。	160,000
12	高森山(四万十市トンボ公園)整備事業(継続)	幡多緑と水の会	四万十市トンボ公園西高森山	四万十市トンボ公園のシンボルともいえる高森山を整備することによって、都市住民と森林との結びつけを促進助長するため、整備作業を5月と11月に2回実施し、遊歩道のササ等下草刈りや倒木の除去を行った。	25,000
実績:11団体11件(予定:12団体12件)					1,722,000

緑化の推進】

No	事業名	団体名	実施場所	事業概要	実績額
1	むろと2000本桜の会 桜育成事業(H16、17)	むろと2000本桜の会	室戸市広域公園	むろと2000本桜の会が室戸広域公園で、平成16年2月に植樹した約1650本桜の維持管理、育成等を参加者総数194名で行った。室戸市の活性化と桜の名所として市民の憩いの場を目指して活動を続けている。	200,000
2	「高知子ども森林インストラクター養成講座」(第6期)/H15と18)	高知子ども森林インストラクター養成講座運営委員会	香美市(おもに情報交流館)	子ども達が森林に理解を深め、学校や地域の森林学習においてリーダーに養成することを目的とし、森林環境・生態に関するものと木工などの有効利用に関する体験型の講座とその前後に座学を行った。5~11月に講座を8回、番外編を2回実施。	287,000
3	-野中兼山の歴史を探る-舟入川ウォーキング(継続)	舟入川ウォーキング実行委員会	香美市	昔物部川の上流域と高知市を結ぶ交通手段でもあった舟入川を歩くことを通して、山と町の結びつきや歴史の一端に触れ、感じることを目的に、9月23日に総数310名で開催した。今年は、事前に山との関わりを深めるため間伐体験も実施した。	112,000
4	自然にふれあうネイチャークラフト教室開催事業(新規)	ネイチャークラフト研究会	香美市甫喜ヶ峰森林公園、情報交流館	自然の素材を使った季節感のあるオリジナルネイチャークラフト作品を作成することをとおし、自然の大切さを体感し、五感や生きる力を育んだ。4回実施し、各回20~32名が参加して作品を作った。	99,000
5	守ろう!ふるさ(森と水)を(継続)	楠目小子どもエコクラブ	香美市物部川源流、森林総合センター、甫喜ヶ峰、学校)	楠目小学校エコクラブ(児童65名、サポーター9名)の活動として、物部川での生き物・水質調査、自然の素材のクラフト体験、物部川源流域の森林へ訪れる等3回の活動をとおしてふるさとの森や水に樂しみながら親しみ、その大切さを学んだ。	100,000
6	夏休み親子森林体験教室(継続)	高知県林業改良普及協会	香美市甫喜ヶ峰森林公園	自然に親しみながら、樹木等について理解を深め、豊かな情操と森林愛護の思想を培うため、夏休みに親子で、森林の役割・植物採取・標本作成・樹木名の学習、木とのふれあい体験(炭と七輪を使った陶芸)を甫喜ヶ峰森林公園で実施した。	75,000
7	高知県緑の環境会議 講演会・シンポジウム(継続)	高知県緑の環境会議	高知市	5月26日に緑と森林・林業に関する普及・学習活動として、地球温暖化対策と森林・林業」と題したシンポジウムを開催した。広く一般市民にも広報し、総数100名が参加した。	90,000
8	朝倉中学校里山づくり(3年目)	高知市立朝倉中学校 PTA	中学校北校舎の北側の山の斜面等	学校周辺に多様な生物が生息できる環境づくりとして、PTA、生徒、地域が協同で活動し、森林環境を考える場である里山づくりをとおして、地域を大切にする心を育てるため、植栽環境を整え、広葉樹(花、実、紅葉)140本を植樹した。5年事業。	180,000
9	「地場の木材を住まいに使い森を守る」シンポジウム・「高知削ろう会」開催事業	高知木の家ネットワーク	高知市仁井田	地域資源である木材の利用を通して山間地域経済の活性化等県民に普及啓発を図るため、高知もくもくランドと共に、地場の木材を地域で使う「地産地消の家づくり」をテーマにパネルディスカッション「森林から住宅へ」を10月27日に開催した。	84,000
10	秦山の竹林と友達になろう会(継続)	秦山の竹林と友達になろう会	高知市中秦泉寺字秦山並びに周辺の竹林	竹の生育や活用の方法を学びながら、「ふるさと秦山」を取り巻く文化的かつ環境的な役割について話し合い、環境の保全や青少年の健全な育成に努めるため、高知市中秦泉寺字秦山並びに周辺の竹林で、竹にまつわる各種取り組みを行った。	75,000
11	第6回秦里山まつり(継続)	秦里山まつり実行委員会	高知市秦山	森と自然を大切にする意識の高揚を図ることを目的とし、高知市里山条例により第1号指定された秦山で11月4日秦里山まつりを開催した。子どもから高齢者まで体験できる竹細工や竹遊具、竹炭づくり等、地域住民が里山に親しんだ。	120,000
12	市民参加による体験を主体とする工石山自然休養林県民の森市民の森の森づくり事業	県民の森工石山を楽しみながら良くする会	高知市工石山自然休養林	工石山の持つ森の機能など森林の大切さを学ぶために、ボランティアと提携し広く県民に参加を呼びかけ、工石山自然休養林内の環境整備、自然観察を4月と7月の2回実施した。また、工石山の植生を掲載した花こよみの作成は通年行った。	60,000
13	森と水のふれあい教室(継続)	母なる大地四十万の郷	高岡郡幡東・四十万中央、大正町、窪川町、須崎地区)	母なる大地四十万の郷、水と森を考える事業の一環として、須崎地区幡東・窪川町・大正町・四十万中央の5ヶ所の森林組合会場で苗木の無料配布や木工教室、植樹等を実施し、一般の方々に自然の大切さや木の温もり等を伝えた。	250,000
14	三原村緑と親しむ事業	三原つつじを育てる会(新規)	三原村	三原自然公園の整備を図り、三原村の美しい自然と村を愛する心を育むことを目的とし、春と秋に村内を彩るよう村の花であるキシツツジ785本を河川沿いに、加えてモミジ2種類1,000本を公園中腹以上の山へ植栽した。	250,000
15	木材を活用したバイオトイレの建設(新規)	高知市立朝倉第二小学校 PTA	高知市立朝倉第二小学校	木材を活用して、木造のバイオトイレを建設することにより、森林資源の循環型環境教育等に努め、PTAと学校がともに環境活動を推進し、地域環境への意識を高めた。	189,000
実績:15団体15件(予定:15団体15件)					2,171,000

【国際協力】

No.	事業名	団体名	実施場所	事業概要	実績額
1	安徽省日中友好の森づくり事業	安徽省日中友好の森づくりネットワーク	中国安徽省	県内で募ったボランティアにより、安徽省日中友好の森づくり事業」として植樹活動を毎年行っている。今年度は安徽省池州市貴池地区的皆伐地域 (8 ha)。植樹・交流ツアには、小学生から大人まで22名が参加し、日中共同での植樹と交流を深めた。	400,000
実績 1 団体 1 件 (予定 1 団体 1 件)					400,000

【地区・支部実施事業】

No.	事業名	団体名	実施場所	事業概要	実績額
1	香美市体験林業教室 [第 1 期]	(社)高知県森と緑の会 香美市支部	香美市物部町別府ほか	森林の持つ機能、役割及び森林と林業の関わりに关心を持たせるとともに、郷土の森への愛着を深めさせ、地域林業の振興を図るため、香美市物部町の大板小・中学生を対象に体験林業教室を開催し、森の講話を聞くことや木工品製作を行った。	35,000
2	汗見川河畔林整備事業 [第 1 期]	(社)高知県森と緑の会 本山町支部	本山町汗見川	渓谷美に優れ、春は川岸のキシツツジ等県内外から親しまれている汗見川の河畔林整備(針葉樹から広葉樹への樹種転換)を行い、上下流域の交流の場を確保するために、下草刈り作業等環境整備を行った。	67,000
3	地域緑化推進事業 [第 1 期]	(社)高知県森と緑の会 越知町支部	越知町内	過疎化、高齢化が進む町内の山間地域において、緑化活動を推進し、緑豊かなすみよい環境づくりを行うために、地区及びグループでの植栽により憩いの場を整備したいという要望を聞き取り、町内 10 集落に苗木 424 本の配布を行った。	200,000
4	松原地区松林環境整備事業 [第 1 期]	(社)高知県森と緑の会 芸西村支部	芸西村松原地区海岸沿いの松林	村の名所である松原地区松林の景観美と機能をより高め、支部の緑の環境整備につなげるため、7月からは清掃作業や下草刈りを行った。12月には、住民ボランティア 27 名が抵抗性の黒松の苗木 500 本を同地区東西 200m 海岸沿いに植樹した。	147,000
5	三宝山里山整備事業 [第 1 期]	(社)高知県森と緑の会 香南市支部	香南市野市町三宝山	香南市野市町三宝山において、森林体験や自然観察、環境教育に役立てる里山整備として、9月 8 日に整備ボランティアを募集し 16 名が竹林と雑木の間伐等を行った。当日できなかった整備は後日行い、登山道約 1.5km とその周辺約 6.5ha が整備された。	161,000
6	行川流域森林整備事業 [第 1 期]	(社)高知県森と緑の会 本山町支部	本山町行川流域の森林	渓谷美に優れた町内有数の清流「行川」では、河畔林整備が遅れているため、基幹道路を覆うように成長した樹木の間伐・枝打ち・下草刈り作業等の手入れを行うことにより、河川景観を確保し、渓谷美あふれる水辺空間の整備を行った。	132,000
7	須崎地区管内緑化推進事業 [第 1 期]	須崎地区森と緑の会	須崎地区森と緑の会管内	須崎地区森と緑の会管内 8 ヶ所(四万十町、中土佐町、須崎市)へ桜(陽光、山桜、ソメイヨシノ)、シャクナゲの苗木計 122 本を配布し、地域住民が、公園緑化、通学路の緑化、安和駅周辺等植樹を実施し、身近な自然を愛する心を育み育てた。	169,000
8	自生植物による緑の町再生事業 [第 1 期]	(社)高知県森と緑の会 大月町支部	大月町内全域	道路開発等により荒廃した自然を復元し、自然と人が共生する社会づくりに取り組むため、町内に自生するウバメガシやオオイタビを育苗し、緑化イベントでの風力発電所法面等、各所へ植栽した。また、環境保全教育を宿毛分校生徒を対象に実施した。	146,000
実績 7 団体 8 件 (予定 7 団体 8 件)					1,057,000

実績 34 団体 35 件 (予定 35 団体 36 件)

5,350,000

事業交付決定総額は、5,955千円だったが、実績ベースでは総額 5,350千円を交付した

緑化の推進 15 の「高知市立朝倉第二小学校 PTA」の事業は、平成 19 年度公募事業として申請されたが、平成 19 年 3 月内に完了したため、当会の会計年度としての扱いは、平成 18 年度事業としている。



森林の整備. 1

ふれあい 21 世紀の森づくり事業

情報交流館ネットワーク

香美市土佐山田町大平 80

高知県立森林総合センター「情報交流館」内

【募金事業の概要】

事業日と場所 香美市香北町西川契約民有林 平成 19年 3月に整備・植樹 を含めて 5回実施。香美市物部町ヒカリ石国有林(ふれあいの森協定を結んでいる)で、間伐体験を含めて 3月に 2回、10月 1回実施。

目的

森づくりは水づくりそして人づくり」であり、物部川に関わる様々な分野の人々が、清流復活・豊かな郷土づくり人の「輪」と「和」の構築と親睦を図るため

活動の概要

海に関わる人々(香南漁業協同組合)に参加を呼びかけ、流域住民と関連団体が一体となった取り組み 森・川・海の連携による地域再生への取り組



香北町西川民有林

上・手ノコで間伐体験
下・家族で参加し協力しながら植樹
上・クヌギの苗木を手分けして運ぶ

み~森・川・海はみんなで守るもの~」を、香美市内の 2ヶ所で実践した。

地拵えと植樹体験をのべ 61 人で実施した。植樹体験には 23 名が参加し、クヌギを 1,000 本植裁した。

3月 19 日に間伐の準備をし、24 日に一般参加者を含む 20 人で間伐体験を行った。また、10 月 7 日には間伐体験と原生林の散策バスツアーを一般参加者含め 52 名で実施した。散策は、さおりが原まで歩き、問題が深刻となっているシカの食害を含め、森の豊かさや大切さを過去の写真を交えながら説明した。

これらの 3 回の実施で会員含め、のべ 84 名が参加した。



物部町ヒカリ石国有林

下・さおりが原での写真を使った紙芝居
上・手ノコで間伐体験



守ろう！ふるさと(森と水)を

楠目小子どもエコクラブ

香美市土佐山田町楠目 391- 2

香美市立楠目小学校内

【募金事業の概要】

事業日 全 3回、3ヶ所で実施した。 8月 9日、

11月 15日、 11月 29日

事業場所 物部川、 楠目小学校、 さおりが原 (香美市物部町)

目的 物部川や物部川流域の森林での体験活動をとおして、ふるさとの森や水に親しみ、楽しむ。森林や川を守り育てている人達の活動に気づき、自分達にできることを考え、実践しようとする子どもを育てる。

活動の概要

物部川の源流に行く前に川の水の調査を行った。クラブ員の子ども達 8名を中心に計 12名で調べた。きれいなように見えたが、意外と汚れている川であることが分かり 残念に感じた。

学校でエコクラブ子ども達 50名で、自分達の周囲にある木の実や石を使った工作をして、木の柔らかさや手触りを楽しんだ。

子ども達の念願であったさおりが原に物部川源流を求めて出かけた。クラブ員の子ども32人を含め 39名で訪れた。

沢に沿って歩くことも初めて、岩をよじ登ったりといふ経験も初めてだった。さおりが原に着くまでに木のにおいをかぎ、山の空気に触れることで森林の中につままれていることや、落ち葉を踏みしめた感覚を感じながら歩いた。山の巨木をみんなで手をつないで囲み、木の大きさを実感した。

さおりが原に流れる水が物部川に流れ出すことを自分達の目で確かめたことに感動している子ども達の姿があった。

平成 20年 2月 14日に、物部川をテーマに 4年生が環境発表会を行った。



どんな生き物が川にすんでいるかを調査する子ども達



身近な自然の恵みで思い思いにクラフト



巨木の大きさや物部川の源流である森の豊かさに感動



緑の国際協力.1

安徽省日中友好の森づくり事業

安徽省日中友好の森づくりネットワーク

香美市土佐山田町大平 80

高知県立森林総合センター「情報交流館」内

【募金事業の概要】

事業日 平成 19年 3月 21日 ~ 3月 26日

事業場所 中華人民共和国 安徽省池州市貴池区皆伐跡地

目的 高知県は平成 7年度から毎年安徽省林業庁から1年期間の2名の研修生を受け入れてきた。昨年までに既に18名の研修生が中国に帰国して、林業庁で活躍している。この研修生を核に、干ばつや急激な増水を繰り返している揚子江の保全のための水源林造林と中国での緑化意識の啓蒙及び日中交流を目的とする。

活動の概要

毎年県内で募ったボランティアにより、安徽省日中友好の森づくり事業」として植樹活動を行っている。今年度の実施地は安徽省池州市貴池地区の皆伐地域(面積 8ha)。安徽省植樹交流ツアーには、小学生の子どもから大人まで 22名が参加した(初参加も半数近くいた)。植栽はクスノキと竹で約 7万 7千本のうちの一部を「日中友好の森」として日中のボランティアにより 3月 22日と 23日の 2日間で植樹した。以後は現地政府の責任で維持保続していく。

中国側からの参加者は約 50名。現地学生や現地林業庁の職員も参加した。日中友好交流を兼ね

た植樹事業であり、安徽省の中学生と協力し、会話を楽しみながら植樹した。

他の日程は、安徽林業職業学院・淮南市師範学校附属小学と淮南第十三中学を訪問した。

実施結果

同省貴池地区捐橋鎮桂販村虎形山の 8ha の皆伐地にキリ2千本、その他広葉樹 7万 5千本を植樹予定。総事業費約 300万円のうち 40万円分を負担。



植樹作業



植樹参加者全員で記念撮影

安徽省貴池地区捐橋鎮桂販村虎形山の皆伐地



おおなろ野外活動の森づくり

高知市神田字大成 1637- 4

おおなろ野外活動の森づくり実行委員会

どんぐり銀行大川村プロジェクト

土佐郡大川村朝谷 26

社団法人大川村ふるさと公社

【募金事業の概要】

事業日 平成 19年 7月 1日と10月 28日

事業場所 おおなろ野外活動の森
(高知市神田)

目的 地域住民、学童、ボーイスカウト、知的障害者が協力し、下草刈り、間伐、植樹、看板の設置等を行い、森づくりの大切さや自然学習を深めている。

活動の概要

1回目は、7月 1日に参加者 25名で実施した。

2回目は、10月 28日に実施。午前中は、森の中の下草刈りを、子ども達を中心に刈り込みばさみで行った。2名がチェーンソーで枯れた松を伐倒し、伐採された松を玉切りし整理した。この日は、横内縁の少年隊も参加し、少年隊の子ども達が自分達で育てたクヌギの苗木を植樹することも並行して行った。また、社会福祉協議会の協力で、昼に餅つきと豚汁が用意され、参加者が交流をしながら昼食を楽しんだ。午後は、紙UFOをつくり、「野外活動の森(たいよう広場)」で自然にふれながら遊んだ。



上:開会式
下:刈り込みばさみで主にササである下草を刈っていました



【募金事業の概要】

事業日 平成 19年 5月 27日、9月 28日、11月 8日

事業場所 大川村 白滝の里周辺、大座礼山

目的 森林の持つ公益的機能の重要性に対する認識を深め、森林保全への行動につなげていくため、日常生活の中に森林との関わりを見出す機会をつくり、森や木をより身近に感じてもらうこと。

活動の概要

森づくり事業として、森づくり体験をとおした地域住民と都市住民との地域間交流の拡大と森林保全意識の啓発を図った。植樹は、クヌギの苗木 200本を地元住民を交え 80名で行った。植樹後のファミリーコンサートには 180名が参加し森林保全の意識を高めた。また、森林保全活動事業として、たくさんの巨木が残る大座礼山の巨木周辺にはびこるササの根を除去するために、ボランティア 13名によるササ刈り作業を 9月に行い、11月にも地元の中学校の生徒・先生が 22名参加して作業を行った。



植樹等の森づくり体験による地元と都市の地域間交流



左：巨木周辺のササ除去

右：井上あずみさんとともに緑の募金の呼びかけ

焼畑から始める近自然の森づくり

高知市朝倉丙 1170- 7

焼畑による山おこしの会

【募金事業の概要】

事業日 平成 19年 5月、7~ 9月、11月

事業場所 吾川郡仁淀川町用居キワダ丙

目的 「焼畑のムラ」として知られる日池川町において、地元住民の協力を得ながら、焼畑での雑穀栽培を復活・普及させることにより、地域のシンボル的な森林の利活用を図ること。

活動の概要

杉植林の伐採地において、5月に春焼き、9月に夏焼きの2回の焼畑を経験者の指導の元、防火対策(藪の刈り払いや防火帯づくり、散水)をしながら火入れを行い、ソバ、コキビ、アワ、サトイモを植え、11月に収穫した。焼畑前には必ず火入れの儀式をしている。(平成 19年 11月 23~ 25日に、焼畑サミットが開催され、当団体が共催。助成事業対象であることを紹介した)



左：延焼を防止するため、防火帯をつくる
右：春焼きした場所に播種し、実りを迎えたコキビ



9月1日に実施した夏焼きの火入れの様子

三嶽古道整備事業

高岡郡越知町越知丙 737番地 12

横倉山自然の森博物館友の会

【募金事業の概要】

事業日 平成 19年 9月 24日、11月 18日、
11月 20日、11月 23日の計 4回

事業場所 越知町横倉山~仁淀川町谷山

目的 荒れ果てた「三嶽(みたけ)越え」(日仁淀村と横倉山までの尾根伝いを結ぶルート)を、平成 17年から再び人々がハイキングできる道に戻そうと、地域住民サークルなどが協力して整備を開始。このコースを植林や自然林、野草などを守りつつ楽しんで歩ける自然の魅力ある遊歩道に整備し、多くの人々に楽しまれる山道とし、また森の役割や大切さを再認識できるような山道づくりが目的である。

活動の概要

分岐の多い山道に木製の標識(指導標)を整備すると共に、倒木の処理、その倒木を利用した遊歩道の整備や谷の清掃を行った。また、小学校の総合学習の授業として児童と共に自らで作成した木製の樹木ネームプレートを掛け、山への愛着を深めてもらった。



左：分岐の多い山道に木製の指導標を設置している所
右：倒木を利用して整備した遊歩道



小学校の総合学習
樹木へネームプレートを掛けながら、名前を覚えました

自然にふれあうネイチャークラフト教室開発事業

高知市朝倉丙 208- 1

ネイチャークラフト研究会

三原村緑と親しむ事業

幡多郡三原村宮川 1434

三原つつじを育てる会

【募金事業の概要】

事業日 平成 19年 4月 1日、 8月 19日
10月 14日、 11月 23日の4回

事業場所 ~ 県立甫喜ヶ峰森林公園
森林研修センター「情報交流館」

目的 自然素材を使った季節感のあるオリジナルネイチャークラフト作品を制作することを通して、自然に興味を持ち、自然の大切さを体感できる感性を養う また、自然素材の持つ形・色・肌触り・におい等をとおして五感を養い、人が本来持っている豊かな心や井来る力を引き出し育むこと。

活動の概要

どんぐりを育てよう 竹のプランター・ポットをつくり、
どんぐりの話を聞き、種蒔きを行う 23名。
夏休みの宿題になるような小枝の昆虫や自由に
板を張り合わせた木工作品づくり 32名
どんぐりの種類や集め方、どんぐりにまつわる話を
聞き、おもちゃづくりや遊びを行った。20名
かずらを使ってのクリスマスリースづくり 30名



上：の「夏休み木工クラフト教室」の様子
下：の「どんぐりで遊ぼう」。どんぐりを使った様々な遊びをした（やじろべえ、どんぐり笛、コマを作つてから遊んだ）



【募金事業の概要】

事業日 平成 19年 3月 1日から5月 31日まで
事業場所 三原自然公園

目的 三原自然公園の整備を図り 三原村の美しい自然と村を愛する心を育むこと。

活動の概要

会員 20名及び一般参加 35名合わせてのべ 55
名により 自然公園山裾の川べりへキツツジ 785
本、公園中腹以上の山へウリハダカエデ 400本とイ
ロハモミジ 600本の植え付けを行った。

村内河川の両岸を村の花であるキツツジで埋
めつくすことを目標に、平成 17年から村内で育苗し
ているものを植栽した。また、紅葉類は年中楽しめ
る様にしようと、同じく村内で育てたものを植栽した。

植栽前の下刈りや、植栽後の見回りを行った。



上：3月 11日に実施したモミジ・カエデの植樹
下：3月 18日に実施した河川沿いへのキツツジの
植樹作業の様子

木材を活用したバイオトイレの建設

高知市若草南町 23- 56

高知市立朝倉第二小学校 PTA

【募金事業の概要】

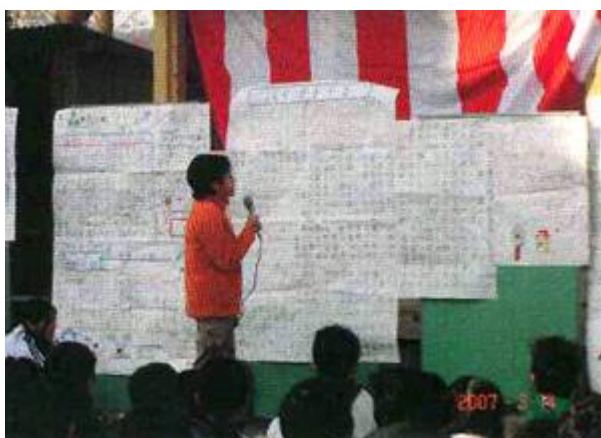
事業日 平成 19年 3月中

事業場所 高知市立朝倉第二小学校敷地内

目的 木材を活用して、バイオトイレを建設することにより 循環型環境教育に努め、PTAと学校がともに環境活動を推進し、防災を含めた地域環境への意識を高めること。

活動の概要

地球温暖化防止など森林の多面的機能や森林資源の循環利用の必要性等に対する理解を醸成するため、助成金では、バイオトイレの建物となる木材を購入し、梁等の木造建築についても学んだ。また、子ども達とPTA・保護者の地域での取り組みを推進することによって、人々の生活や環境と森林との関係について学ぶ機会となった。



上：建設途中のバイオトイレ。下：3月 14 日のお披露目式では、6年生が木造バイオトイレ建物の前で、木材を活用したバイオトイレの説明や、学んだことを発表した。

香美市体験林業教室

香美市物部町大柄 1641

香美市役所 林政課

高知県森と緑の会香美市支部

【募金事業の概要】

事業日 大柄中学校 平成 19年 7月 4日(水)

大柄小学校 平成 19年 7月 5日(木)

事業場所 農林漁業体験実習館(物部町別府)、開発センター物部(物部町大柄)

目的 間伐体験、木工製作を通じ森林の持つ機能、役割及び森林と林業との関わりに关心を持たせるとともに、郷土の森への愛着を深めさせ、地域林業の振興を図るため、村内の小・中学生を対象に体験林業教室を実施すること。

活動の概要

大柄中学校体験林業教室(7月 4日)

当日は雨天のため間伐体験はできなかったが、物部町森林組合職員による森林に関する講話を聞き、香美市職員の指導による絵馬とコースターを作成し、森林・林業に関するクイズを実施した。



大柄小学校体験林業教室(7月 6日)

高知中部森林管理署職員による「森林・林業について」の講話と、木の葉当てクイズや巣箱を作った。



松原地区松林環境整備事業

安芸郡芸西村和食甲 1262番地

芸西村役場 経済建設課

高知県森と緑の会芸西村支部

【募金事業の概要】

事業日 平成 19年 12月 23日

事業場所 芸西村松原地区松林 東西 200m
(海岸沿い自転車道沿北側の松林)

目的 村の名所である松林の景観美と機能をより高め、支部の緑の環境整備につなげる。

活動の概要

地区の住民ボランティア 27名により 抵抗性黒松の苗木 500本を植栽した。

この松林は、県の名勝地にも指定されており 特に松原はその名のとおり 村でも有数の規模を誇る場所である。しかし、近年は松食い虫の被害が深刻で、下草刈りや薬剤の樹幹注入など予防はしているものの、樹齢 100年 クラスの古木はほぼ全滅となつた。5年ほど前から村などの支援を受けて植樹を続けており 今回の松の購入を緑の募金事業で行った。また、植栽場所は、7月から適宜下草刈りも地区の住民ボランティアが協力して行った。



自然植物による緑の再生事業

幡多郡大月町弘見 2230

大月町役場 産業振興課

高知県森と緑の会大月町支部

【募金事業の概要】

事業日 平成 19年 8月 ~ 12月

事業場所 大月町内全域

目的 町内に自生するウバメガシやオオイタビを育苗し、道路開発等によって荒廃した自然を復元すること。また、小中高校生への環境保全教育などを行い、緑化活動の重要性を認識させ、自然と人が共生する社会づくりを行うこと。

活動の概要

町道(農道)、県道、国道の法面及び下段への草木類苗木の植栽。6月(実施期間としては対象外だが)に、のべ 24名で自生草木の種子を採取し、苗づくりを行った。11月に、育てたオオイタビ等の苗を植える緑化イベントを実施し、33名が参加した。その他プランター植え替え 設置作業に47名が参加した。

また、小中高校生を対象とした環境学習会として、稻垣典年さんを講師に講演会を開催し、宿毛高校分校生徒 62名と先生 5名が学習した。



上：11月11日、緑化イベントの様子（風力発電所法面）
下：11月16日、プランターへの植え替え作業

緑の募金法(緑の募金による森林整備等の推進に関する法律)と(社)高知県森と緑の会

「豊かな水と緑」は、健康で文化的な生活に欠くことができません。

緑の募金制度には、みんなでお金と知恵と労力を出しあって森林整備や緑化を推進し、豊かな緑と水のある環境を子や孫にまで引き継いでいく役割があります。

1 緑の募金法について

法律の目的【森林整備、緑化の推進への国民の自発的な参加が期待されています】

「緑の募金の健全な発展を図るために必要な措置等を定めることにより、国民、事業者、これらのものの組織する民間の団体が行う森林の整備等に係る自発的な活動等の円滑化を図り、もってわが国における森林の整備及び緑化の推進並びにこれらに係る国際協力の推進に資することを目的とする。」

基本理念【森林・樹木の重要性を認識して、自らの問題として、自発的かつ積極的に森林整備等に取り組むよう求めています】

「森林整備等は、森林及び樹木が水源のかん養、環境の保全等人間の健康で文化的な生活を確保する上で欠くことのできない役割を果していることにかんがみ、現在及び将来の世代にわたって人間が豊かな水と緑に恵まれた生活を維持することができるよう、国民の自発的な活動を生かして、積極的に推進されなければならない。」

啓発活動【国、地方公共団体の役割が定められています】

「国、地方公共団体は、森林及び樹木の果している役割の重要性についての国民の理解と関心を深めるため、必要な啓発活動を行うよう努めるものとする。」

都道府県緑化推進委員会(当会はこれに当たる)の業務【当会の役割が定められています】

緑の募金及び緑の募金による寄付金の管理を行うこと。

森林整備を行う者又は森林整備を行うものに対して助成をする者に対して交付金の交付を行うこと。

森林整備等の事業を行うこと。

森林整備等に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。

全各号の業務に付帯する業務を行うこと。

緑の募金【他の経理と区分して上の業務等に使用すること等が定められています】

緑の募金を行う際には、予め法律に基づき設置されている運営協議会の意見を聴いて、目標額や使途についての計画を定めるとともに、上記「」の事業を行うに当たっても交付金の交付先・交付額について意見を聞くよう定められています。

2 社団法人高知県森と緑の会のことについて

平成8年に民法第34条の公益法人として設立されています。

高知県、市町村、森林組合、賛同をいただいた企業等から1,350万円の出えんをいただいている。

会の運営経費は、主に会員からの会費でまかなわれています。会費は、正会員は10万円、賛助会員は一口千円で団体は10口、個人は3口を標準としています。

平成20年3月末日現在、正会員は82団体(県、市町村、森林組合、企業等)、賛助会員は62団体と13個人計75となっています。

会の組織は、本部、地区森と緑の会6つ(県林業事務所(嶺北は林業振興事務所)管轄単位ごとにある)と支部33(市町村長が支部長)です。上部団体は(社)国土緑化推進機構です。

だれでもできる森づくり。緑の募金はあなたから森へのプレゼント。



- ・緑の募金に関するお問い合わせ
- ・緑の募金事業に関するお問い合わせ

社団法人 高知県森と緑の会

〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平 80

高知県森林総合センター内

TEL 0887-52-0072 FAX 0887-52-4177

E-mail info@moritomidori.com

ホームページ <http://www.moritomidori.com/>

